

年 組 名前：

「朝食抜き」週3回以上27%



第4次やまなし食育推進計画の実施状況などを報告した審議会
＝甲府・県防災新館

食育計画 若者調査

目標未達成、県が啓発強化へ

県がまとめた食育政策の指針「第4次やまなし食育推進計画」(2021～25年度の25年度の実施状況によると、朝食を抜くことが週3回以上ある若者(20～39歳)の割合は27.2%で、目標の15%以下を達成できなかった。県は26年度から始まった第5次計画(26～30年度)も引き続き数値目標を掲げ、課題項目の改善を目指す。

〈小池直輝〉

第4次計画では、地場産食料の使用割合や塩分摂取量、生活習慣の改善に取り組む人の割合など10項目で数値目標を設定。朝食を抜くことが週3回以上ある若者の割合は、市町村実施の健康診断での問診を参考にまとめた。

県によると、朝食を週3回以上抜くことがある若者の割合は計画初年度の21年度が24.5%で、22年度は25.5%、23年度は26.1%、24年度は26.8%と毎年の増加傾向にあり、25年度も0.4ポイント増えた。

県は、朝食を食べない理由として「時間がない」「調理が手間」などが多く挙がったため、山梨学院大と連携して簡単朝食レシピを考案。レシピの周知を図り、朝食を食べる重要性を説明する大学生向け啓発講座も開催した。今後は働く若者への対策として、勤務先の事業者への啓発にも力を入れる。



(2026年8月28日付 山梨日日新聞22面)

問1 「第4次やまなし食育推進計画」の調査結果が発表され、週3回以上朝食を抜くことがある若者が年々増加していることがわかりました。25年度の状況と目標率のポイント差を教えてください。

.....ポイント

問2 山梨県は、「朝食を食べない人」への対策として、どのような取り組みを行っていますか。

.....

問3 あなたは、「朝食を食べる」ことの良さを、どのように考えますか。自由に教えてください。

.....